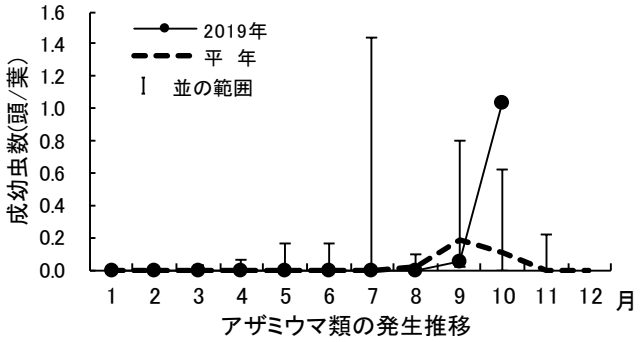
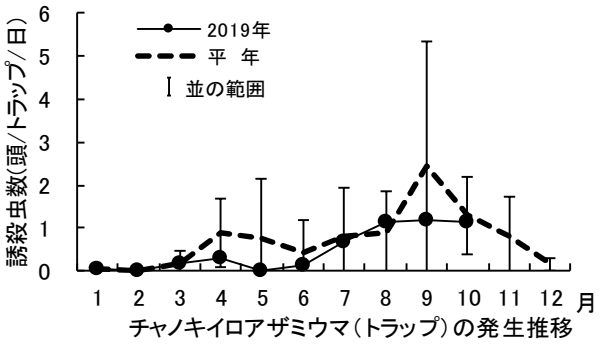
平成　31 年度　　11 月予報

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	11 月の発生量（平年比）	やや多	
	10 月からの増減傾向	↘	
予報の根拠	10 月の発生量（平年比）	やや多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↘）	

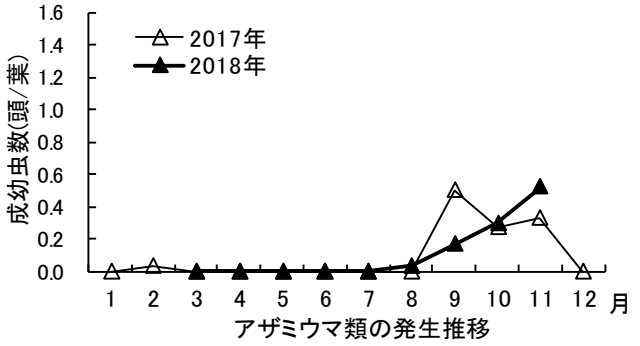
調査結果

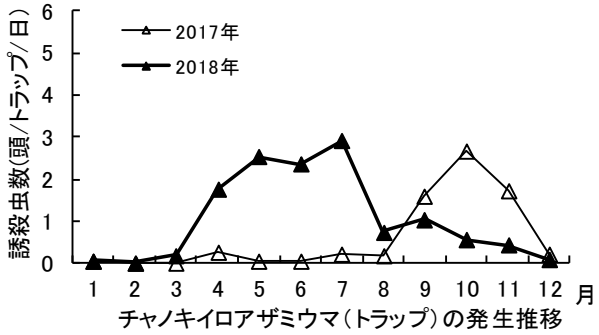
今期と平年の推移





過去2年間の推移





・発生ほ場率：50.0%（平年値：67.4%）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

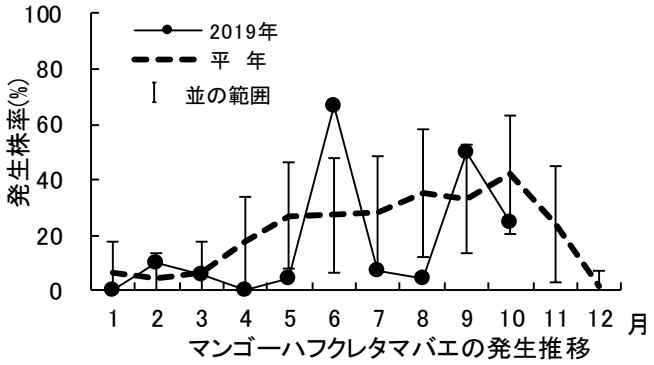
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　11 月予報

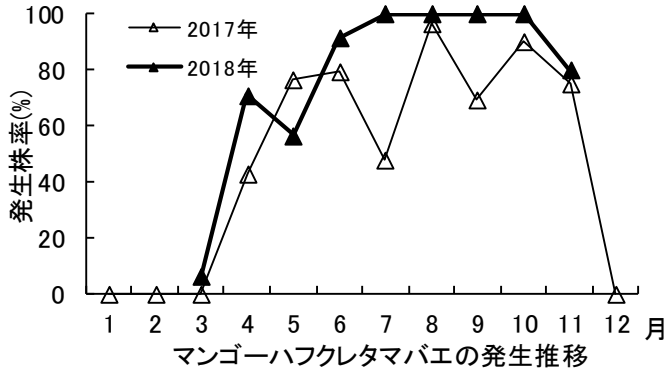
作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
予報	11 月の発生量（平年比）	並		
	10 月からの増減傾向	↘		
予報の根拠	10 月の発生量（平年比）	並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↘）		

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



・発生株率（%）：25.00（前年100　平年41.95）
・被害新梢率（%）：7.08
・発生ほ場率：25.0%（平年値：69.6%）

防除のポイント

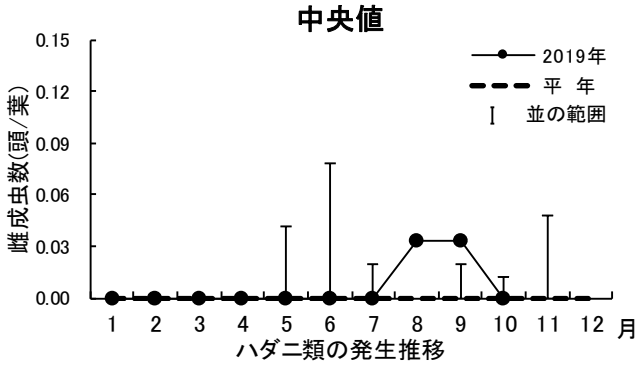
・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

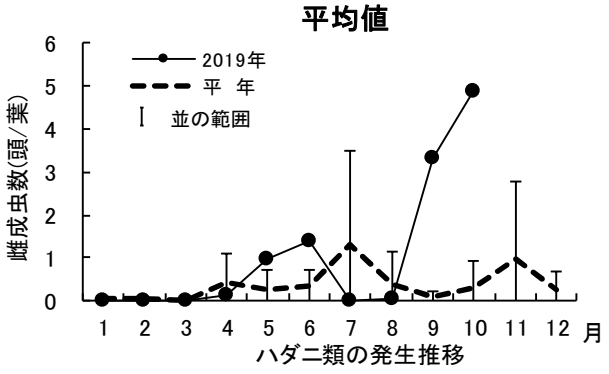
平成　31 年度　　11 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	③ ハダニ類		シュレイツメハダニ	
予報	11 月の発生量（平年比）	並		
	10 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	10 月の発生量（平年比）	並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）		

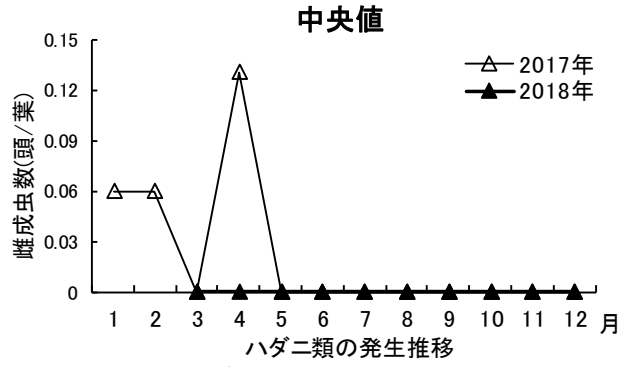
調査結果

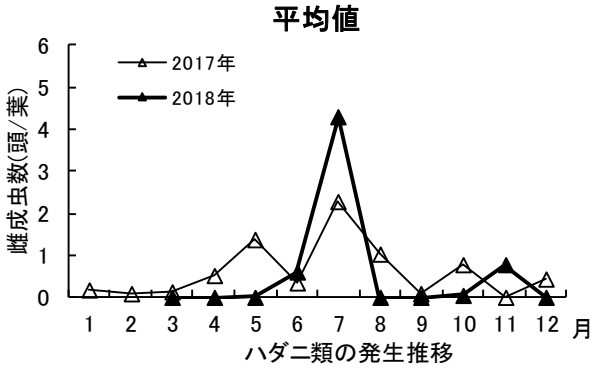
今期と平年の推移





過去2年間の推移





・一部ほ場で多発生した。

・発生ほ場率：60.0%（平年値：31.3%）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症